

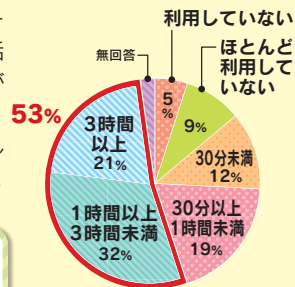
# スマホのリスクを知っていますか

—子どもにスマホを使わせる前にリスクをしっかりと認識しておきましょう—

## 使い過ぎに注意が必要

スマホはコミュニケーションツールとしての利用に留まらず、インターネット接続でゲームや映像の視聴なども可能なため、使い過ぎによる生活習慣の乱れが問題になっています。スマホを片時も手放せず、学習時間が削られたり、勉強に集中できない子どもも少なくありません。

右の図は、愛知県内の高校生が1日にどの程度、インターネットを利用しているかを示したグラフです。1時間以上使っている生徒が53%もいます。



愛知県総合教育センター/平成24年度「児童生徒の情報機器利用の実態調査」より

子どもにはうまく使ってもらいたいな



## スマホを1日2時間30分使うと…

1年間では… 2時間30分 × 365日 = **912.5時間**  
 3年間では… 2時間30分 × 1,095日 = **2737.5時間**

全日制高校の1年間の標準的な授業時間は、およそ875時間です。  
 1日に2時間30分以上、毎日スマホを使い続けると、1年間の授業時間数以上の時間をスマホに費やしてしまいます。

## 使い過ぎるとこんなことに

- 深夜まで使い続けて寝不足
- 明るい画面を見過ぎて睡眠障害
- 操作のし過ぎで眼精疲労や頭痛、肩こり、首・腕の痛みなど
- 歩行中にも操作を続け、前方不注意で交通事故に



高校3年間の生活を充実したものにするために、自分にとってプラスになる時間の使い方やスマホの利用方法などについて、親子で話し合ってみましょう。

## 博士からのひとこと

どうしても時間管理ができない場合は、フィルタリングアプリによる時間制限も設定できませんぞ。

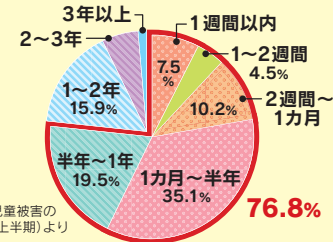


# スマホは使い始めが肝心です

—スマホのトラブルの多くは、インターネット接続に起因—

## サイトの閲覧をきっかけに犯罪に巻き込まれる危険性も

P3の調査結果からも分かるように、利用者の多くがスマホの利用目的にインターネットへの接続をあげています。しかし、インターネット接続によるサイトの閲覧が元で犯罪被害に巻き込まれた児童生徒のうち約77%が、原因となるサイトを閲覧し始めてから1年以内に被害に遭っています(右図参照)。スマホの利用を子ども任せにすることは、トラブルと隣合わせの危険な状態と同じです。



警察庁/コミュニティサイトに起因する児童被害の事犯に係る調査結果(平成25年上半期)より

## スマホだけじゃない、ゲーム機器や携帯音楽プレーヤーでもネットが可能

最近では、多くのポータブルゲーム機器や携帯音楽プレーヤーでも無線LAN<sup>※1</sup>などを通じてインターネットに接続できます。ペアレンタルコントロール機能<sup>※2</sup>など、こうした機器の管理にも保護者の果たす役割が重要となっています。

※1 Wi-Fiなど、ケーブルを使わずにインターネット接続する仕組み。  
 ※2 フィルタリングできる機能、親が視聴・利用制限をかける機能。詳細は、各機器の取り扱い説明書やサイト等で確認を。



## 子どもをインターネットトラブルから守るために

# 愛知県では、青少年保護育成条例でフィルタリングの普及を推進しています

青少年が使用する携帯電話を県内で購入する際は、事業者から保護者に対して次の事項が説明されます。

- 携帯電話事業者が提供することができる**フィルタリングサービス及びフィルタリングソフトウェア**の内容
- 有害情報を閲覧する機会が生ずること
- インターネットの不適切利用により、自分または他の人に対して有害な行為をするおそれのあること など

なお、保護者がフィルタリングサービスを利用しない旨の申出をするときは、その理由を記載した書面を提出する必要があります。

親の責任ってコトね

